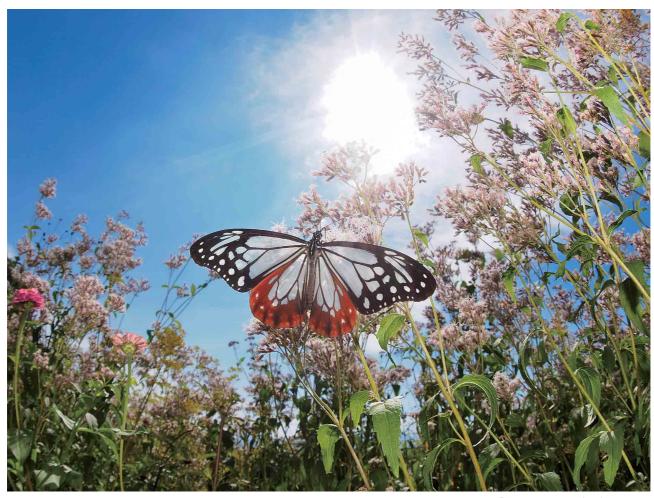


公益社団法人日本写真家協会(JPS) 公益社団法人日本広告写真家協会(APA) 一般社団法人日本写真文化協会(JPC) 日本肖像写真家協会(JPPA) 一般社団法人日本写真作家協会(JPA) 全日本写真連盟(AJAPS) 一般社団法人日本スポーツプレス協会(AJPS) 日本自然科学写真協会(SSP) 日本風景写真協会(JNP) 公益社団法人日本写真協会(PSJ)

正会員団体 ■10団体



「**旅するチョウ:アサギマダラ**」 写真:海野和男 HJPI320800000271

#### **CONTENTS**



#### 目次

巻頭言 日本写真作家協会 会長 津田一郎 2 最新ニュース 日本写真著作権協会総会報告 3 スペシャルレポート4 日本REPエージェンシー協会に聞く 4 シリーズ著作権4-2「クリエイティブコモンズと写真の著作権」 6

> 一般社団法人 日本写真著作権協会 www.jpca.gr.jp

#### 巻頭言

#### 一般社団法人 日本写真作家協会 会長 津田 一郎



日本写真作家協会(JPA)は、"写真は哲学である"という信念のもと、1989(平成 元)年に三木淳初代会長により設立されました。三木先生の亡き後、不安定な時代が 続きましたが、私が会長をお引き受けした頃に運良く法律が改正され、一般社団法人 化を達成することができました。法人化されると会はすっかり落ち着きを取り戻し、今 日の安定した状態を迎える事ができました。これも皆様のご支援の賜物と感謝してお ります。

当協会の主要事業は、JPA会員展と公募展です。特に公募展は、毎年作品の流行 のようなものがあります。ですから、どのような基準を以って審査するかを追求し、「"日 本写真作家協会らしさのある作品"とはいかなる作品かし、をいつも考えます。写真は ビジュアルなもので、記録することが基本ですが、そこに作者だけが感じている哲学や 芸術性を、独自の感性で昇華させ表現しているかを重視しています。

JPA展は現在まで、東京、大阪、広島、米子と展開しております。2011(平成23)年 3月11日の東日本大震災以来、JPAとして何ができるかを絶えず模索してまいりまし たが、昨年から「日本の災害と復興」というテーマ部門を新設し、今回、仙台でもJPA 展を開催する運びとなりました。今後も被災地および被災者の皆様を応援するべく、 IPAらしい企画を考えていきたいと思っています。

日本写真作家協会の会員は、プロアマを問わず、報道関係者、写真評論家と多彩 であり、日本の写真業界において最も理想的な写真作家の団体となることを目指して おります。

今後共皆様の温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 一般社団法人 日本写真作家協会(JPA)

代表者》津田一郎

設立年》1989年

会 員 数》正会員411人、賛助会員16社、協賛会社3社

協会事務局》〒104-0061 東京都中央区銀座1-19-3 銀座ウイステーリアビル3F

話》03-3535-6251

e-mail » jpa@jpa-photo.com

U R L » http://www.jpa-photo.jp/

#### ■第26回日本写真作家協会会員展/第13回日本写真作家協会公募展 開催日程のご案内

東京展(東京都美術館) 2015年12月13日(日)~12月20日(日) 大阪展(大阪市立美術館) 2016年1月13日(水)~1月17日(日) 米子展(米子市美術館) 2016年3月17日(木)~3月22日(火) 岡山展(岡山県天神山文化プラザ) 2016年3月29日(火)~4月3日(日) 2016年 4 月22日(金)~ 4 月27日(水) 仙台展(せんだいメディアテーク)



第13回JPA公募展 JPA大賞·文部科学大臣賞 『妹』 岡 祐子



### 平成27年度 第13回通常総会

去る9月28日、半蔵門JCIIビル603会議室において一般社団法人日本写真著作権協会 平成27年度第13 回通常総会が開催されました。各正会員団体の理事、監事、委員が出席する中、公益社団法人日本写真家協会 の会長交代に伴って同協会の熊切会長が副会長に就任するなどの人事、昨年度の事業・決算報告、さらに写 真保存センターへの支援継続や当ニュースの発行部数拡大を含めた平成27年度の事業計画案・予算案が全 会一致で承認されました。

平成27年度の主な事業計画の骨子は以下のとおりです。

- 1. 日本複製権センターの運営について新三ヶ年計画を策定し、事業の拡大と安定を図る。
- 2. 経団連ポータルサイトJapaconの運営を通じて、政府施策との連携を実現し知財関連の情報共有を行う。
- 3. データベースの再構築を行い、低コスト運用体制に変更する。
- 4. 写真保存センターの設立運営支援を行う。



■理 事 田沼 武能(代表)(JPCA)			
白鳥 真太郎(副会長)(APA) 松本 徳彦(専務)(JACA)	堀 恵介(副会長 瀬尾 太一(常務		熊切 圭介(副会長)(JPS)
足立 寬(JPS) 今井田 琇子(JPA) 植村 泰三(JPC) 榎並 悦子(JPS) 大石 直臣(JPC)	大平 温(PSJ) 織作 峰子(APA) 勝又 ひろし(JAPS) 川隅 功(JSPA) 小林 洋(AJPS)	鈴木 英雄(APA) 茶谷 茂(SSP) 野辺 修司(JPPA) 堀切 保郎(JPS) 松島 敏章(JPC)	山口 勝廣(JPS) 善本 喜一郎(APA)
■監事 荻島 孝之(JPC)	酒井 憲太郎(JPS)	水谷 章人(AJPS)	
■委 員 阿古 慎一郎(JAPS) 伊知地 国夫(SSP)	今井 康道(JPC) 上田 裕一(PSJ)	岡野 一之(JPCA) 兼子 久(JPA)	薬師 洋行(AJPS)

(役職以下五十音順)

# SPECIAL REPORT 4

## 皆さんはレップエージェントという職業ご存じだろうか?

日本REPエージェンシー協会に聞く

Representative agent. 直訳すれば担当代理人となるだろう。欧米に端を発する写真家やメイクアップアーティストの代理人としてマネジメントや種々の交渉事を担当する専門家である。

80年代頃から国内でも同様の業務を行うエージェンシーが現れ始め、主に出版メディアを中心に写真家やメイクアップアーティストなどのマネジメント業務を展開している。

2009年に業界団体として一般社団法人日本レップエージェンシー協会が発足、現在に至る。

今回は同協会の緒方理事長と監事の大塚行政書士を訪ね、最新の業界事情についてお話を伺った。

#### きっかけは問題意識の共有

そもそも協会設立のきっかけは当時の経済状況を理由に出版各社から電子出版を見越した写真の二次使用などで一方的な取引条件の変更を迫られたことで、問題意識を共有していた38社が一致団結して対応することを目的としていたという。

「海外のエージェントなどを講演に招くと、何故日本は ライバル同士が団結するのか不思議に思われることも あります」(緒方)

現在の活動もこの部分が主なウエイトを占めており、出



行政書士 大塚 大

版各社との協議を続けている。

当時、雑誌協会が 写真家などの権 利者と共同で策 定した「権利処理 ガイドライン」が 2012年末の完成 前で、出版業界も 針を提示する状況 が続いていた。出 版サイドの 言ういわゆ る「包括的 利用許諾」 である。

「デジタル



REPエーシェクシー協会 理事長 **緒方 誠一** 

イドからの業務委託契約書を検討して会員各社に問題点を提示して個別の契約の支援を行っています」 (大塚)

とはいえ制作費の削減圧力の影響で、契約内容も非常に細かく費用を制限する内容になってきているという。経費の管理も厳格で、レタッチ料や機材費、撮影が深夜に及んだ際の食事代まで制限されることが

ある。

「以前はカメラマンはもっと夢のある職業でしたが、昨 今ではカメラマンの方々の負担が増えてきていますね | (緒方)

## 著作権研修も充実

また、会員各社の日々の実務に役立てるためのリーガ ルサービスも提供する。比較的小規模な会社が多い 業種柄、個別に顧問弁護士等を有しない会員のため に契約書の作成支援などで活躍するのが大塚行政書 士である。「頼りっぱなしです(笑) | (緒方)

労務問題や契約諸関係、不払い問題などは顧問の桑 野雄一郎弁護士が担当する。

最近は改正著作権法による電子出版権を含む契約書 が増えている。

その中で著作権部会も顧問弁護士と担当理事で研修 会などを積極的に行っている。

写真家を含む契約クリエイターの参加も歓迎している が、中々参加者が増えないという。法的な要素が関わ る部分をレップに一任しているとはいえ、実に耳の痛い 話だ。

研修会の内容についても興味深い。

「マネジメント実務者向けの著作権研修会を桑野雄一 郎先生の協力で定期的に行っています。先日はファッ ションショーでの写真をテーマにヘアメイクやスタイリ ストの創作の著作物性について判例を勉強しました | (大塚)

ひとたび写真を撮れば、その著作権は当然に写真家 が得る。しかしその画面の中に(しかも主要被写体と して)あるスタイリスト創作の衣装や独創的なヘアメ イクなどについて著作物性を考慮して、写真家との 共同著作物とすべき時があるのではないか?という 観点など、先進的とも言える研修を重ねている。撮影 に関して機材やスタッフに対する最適な保険の研修 会などもあり、これも写真家に限らず種々のスペシャ リストを擁するレップエージェンシーならではの視点と 言える。

#### 新たな課題と新たな地平

技術の進歩に法律が追いつかない状況も顕在化、大 きな課題となっている。

「ジャケット撮影などで動画のみを撮影、その中から静 止画を切り出す場合に現行法では映画の著作物とみ なされるようなケースが実際に出てきています」(緒方) デジタル一眼レフカメラの動画機能によって写真家に も動画撮影が身近なものとなって久しいが、現在の著 作権法では映画の著作物とみなされて著作権が撮影 者に帰属しない場合がある。動画撮影を行う写真家に とって重要な問題であり、これについても研究をするこ とになろう。

今後の課題についても聞いた。

「長期的には、現在は案件ごとの契約関係であるクリ エイターと専属契約を結んでシステムとしての機能を 確立することですね | (緒方)

海外の例に習い、専属契約によって周辺環境も含めた トータルなマネジメントを実現することは、エージェント の収益構造の確立にもつながるだろう。これと関連し て、クリエイターの海外進出に伴って国内と海外で別 のエージェントと契約しているクリエイターの場合の エージェント両者の管轄権に関わる調整についても研 究課題だという。

昨今ではアジア圏からの撮影依頼案件も増えており、 所属クリエイターを紹介する英語、中国語版ポータル サイトも予定されているなど、活動の場を広げる努力も 怠らない。

国内事情、海外との連携と技術革新。すべての産業に 共通する課題はここにもある。

「カメラマンやクリエイターが関わる環境がどんどん変 化している中で、個人では対応しきれない部分をエー ジェントがどう守っていか。常に進化し続けることに尽 きます」(緒方)

メディア、クリエイターとの共存共栄を目指すレップ エージェンシー協会の存在はこれから一層重みを増す に違いない

## **シリーズ <b>著作権解説**④-2『クリエイティブコモンズと写真の著作権』

## 1

#### クリエイティブ・コモンズ・ジャパン (CCJP)の紹介

クリエイティブ・コモンズ・ジャパン(CCJP)(活動母体: 特定非営利活動法人コモンスフィア)は、日本においてク リエイティブ・コモンズ(CC)ライセンスの普及を行って いる団体です。

2001年に米国で発足したクリエイティブ・コモンズですが、日本では2003年に国際大学GLOCOMをホストとして準備会を発足し、日本語版ライセンスの整備をし、2004年3月に米国に次いで世界で2番目にCCライセンスをリリースしました。2006年3月には、NPOとしての活動を開始し、2007年7月25日に東京都の認可をうけ特定非営利活動法人(NPO法人)となりました。その後、2013年2月に、米国クリエイティブ・コモンズ本部の組織名称ポリシーの変更に伴って、活動母体となるNPO法人名を「クリエイティブ・コモンズ・ジャパン」から「コモンスフィア」に変更しました。

現在、CCJPはボランティアの活動で支えられています。 CCJPの主な活動は、ライセンスの翻訳、普及、ライセンスを利用したいユーザーへのサポート、各種イベントやプロジェクトの企画運営などで、理事及び事務局スタッフと学生インターンを中心に行われています。

#### 2

#### CCライセンスが活用されている事例

#### 1 インターネット上の事例

写真におけるクリエイティブ・コモンズの活用例でもっとも有名なのは米国の写真共有サービス「flickr」でしょう。また、映像サービスでは「Vimeo」がその初期からクリエイティブ・コモンズの導入に

積極的でした。近年では「YouTube」もクリエイティブ・コモンズに対応するようになりました(ただし、BY(表示))というクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの6つのライセンスのうち1つしか選択することはできません)。みなさんが日頃から利用しているであろう「Wikipedia」のテキストや写真もすべてCCライセンスによって提供されています。米ロックバンドのナイン・インチ・ネイルズは、2008年に「Ghosts」というアルバムについて、CCライセンスを付与しダウンロードを許しつつ、CD2枚組のパッケージを販売するという試みを行いました。CCライセンスにより広くリスナーを確保しつつ、ハードが欲しいファンには有償で販売することによりヒットを産み出すことに成功した事例です。

#### 2 リアルの事例

クリエイティブ・コモンズは、インターネット上のヴァーチャルだけでなく、リアルな現実の場面でも利用できます。例えば、イタリア初の電子回路基板である「Arduino」は、そのハードウェアの設計情報はCCライセンスにより公開されており、誰でも自分の手でカスタマイズが可能です。さらに、3Dプリンター等により自動車を製造する米国のLocal Motorsは、世界中のエンジニアやデザイナーから自動車の設計情報を集め、それをCCライセンスにより公開しています。このようにソフトウェアの分野で生まれたオープンソースの考え方は、文章、音楽、写真、映像などの分野でCCライセンスという形で広まり、その流れはハードウェアという物質まで波及し始めています。

#### 国内の事例

ウェブマガジンのWiredやgreenz.jpなどは上述 のFlickrのCCライセンス付き写真などを有効活用 して、利用写真のライセンス料を抑えています。

また、美術館で来場者が撮影した写真にクリエイテ ィブ・コモンズを採用して、PR・広報に利用するとい うプロジェクトがあります。これは2009年に森美術 館で導入されたのを皮切りに、東京都現代美術館、 広島市現代美術館、そして横浜トリエンナーレとい う国際的なアートフェアにも採用され、波及していま す。この仕組みは「CC in Museum」と題して、日 本発のクリエイティブ・コモンズの活用例として海 外でも注目されています。また、最近では筋電義手 を開発する日本のスタートアップexiiiが、オープ ンソースの義手プロジェクト「HACKberry」をスタ ートしました。義手を作動させるハードウェア設計情 報などがCCライセンスにより公開されています。

#### 4 ユーザーからの反応・効果

2006年頃はCCライセンスを採用している作品の 数が5000万だったのに対し、2014年には8億 8200万にまで増加していることが調査でわかって います。特に、YouTubeでは1000万、Wikipedia では3200万、そしてFlickrでは3億700万もの作品 にCCライセンスが付与されていることは特筆すべ きことです。これらは判明している限りの数字であ り、実際にはより多くのは作品に採用されていると 考えられています。Wikipediaのテキストや画像の 二次利用については、CCIPに対して問い合わせが 多いものの一つです。また、ニコニコ動画や、くまモ ンといった二次創作が連鎖していくようなプラットフ ォームやコンテンツは、必ずしもCCライセンスを使 用していなくても、「CC的な思想」に大きな影響を

受けていると言うことができるでしょう。 このようにCCライセンスの影響は、提唱から10年 を経過して、インターネットやリアルな世界において 各所に見て取ることができます。

#### 今後の課題、展望 3

CCライセンスは、2002年に最初のバージョン1.0が発 表されてから、バージョン2.0、3.0そして最新のバージョ ン4.0とバージョンが進化しています。CCライセンスは過 渡期の制度であり、生き物のように成長しています。今 後も時代の流れやニーズに従った形で修正が加えられ ることになるでしょう。その修正点の抽出やライセンスへ のフィードバックについて検討するという課題がまずあり

現実的な課題としては、もっともCCJPはボランティアの スタッフのみで構成されており、常勤のスタッフはいま せん。今後CCライセンスの採用例が増えていくなか で、そのサポートに要する人員のさらなる不足が予測さ れます。

クリエイティブ・コモンズはクリエイターとユーザーとが、 国が決めた法律ではなく、当事者間の契約によってより 自由に、使いやすいように作品の利用条件を「デザイン」 するためのツールです。新しい時代のルールを形成して いくのは私たち自身です。ネット社会にふさわしい著作権 制度を今を生きる一人一人が考えて実践していく必要 があります。ぜひみなさんもこの新しい時代のルールメイ キングに参画してみてください。

#### 略歴:水野 祐

弁護士。シティライツ法律事務所代 表。Creative Commons Japan理 事。Arts and Law代表理事。慶應義 塾大学SFC研究所所員。著作に『クリ エイターのための渡世術』(共著)、 『オープンデザイン 参加と共創から はじまるつくりかたの未来』(共同翻 訳・執筆)などがある。

Twitter @TasukuMizuno



## 日本写真家協会主催 41回 2016JPS展

募集期間:2015年12月15日(火)~ 2016年1月20日(水)

テ ー マ:自由

部門と費用:一般部門(一枚2200円)

18歳以下部門(一枚600円)

応募サイズ:A4または六つ切プリント

応募資格:アマチュア、プロフェッショナル、

年齢、性別、国籍を問いません。

(JPS会員は除く)

応募要項ダウンロードサイトURL:

http://www.jps.gr.jp/2016jpsten\_ouboyoko/

お問合わせ:千代田区一番町25JCIIビル303

TEL:03-3265-7453

#### JCIIフオトサロン 写真展のご案内

#### 稲越功一作品展

「播磨屋 一九九二~二〇〇四 中村吉右衛門」

期間:2015年11月3日(火・祝)~11月29日(日)まで

稲越功一氏は、1965年にグラフィックデザイナーとして仕事を 始め、1970年からフリーランスの写真家としてデビュー。 2009年2月に急逝するまで第一線で活躍し続けた。本展では、 写真集『播磨屋 一九九二~二〇〇四 中村吉右衛門』より、 舞台の息づかいが聞こえてくるような迫力と共に、20年以上も の間レンズを通して炙りだした"稲越功一の中村吉右衛門"を 感じることのできる作品約60点(全作品モノクロ)を展示。



#### 戦後70年特別企画展

「山端祥玉が見た昭和天皇―摂政から象徴まで―」

期間:2015年12月1日(火)~12月24日(木)まで

山端祥玉氏は。1945年末より宮内省嘱託となり昭和天皇ご一家を撮影。 本展は昭和天皇をとらえたオリジナルプリント約70点(全てモノクロ)を展示。

関連企画:「飯沢耕太郎+白山眞理トークショー」

12月12日(土)14:00~16:00/JCIIビ6階会議室/300円

申込必須:03-3261-0300(定員になり次第締切)

#### JCIIフォトサロン

開館時間:10:00~17:00/入館無料/月曜休館 所 在 地:東京都千代田区一番町25番地 JCIIビル1階

TEL:03-3261-0300

アクセス:東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅下車4番出入口より徒歩1分

#### トピックス

## NIKON MUSEUM



## 新たな100年に向けて

2015年10月17日(土) OPEN

ニコンは、1917年に設立され、光利用技術と精密技術を基礎 として、世界中に独自の価値を提供してきました。その歩みをみなさまにお伝え する場、それがニコンミュージアムです。設立以来受け継がれるニコンの思いと、 その進化を感じていただければ幸いです。

地:〒108-6290 東京都港区港南2-15-3 品川インターシティC棟2F 交 通 案 内: JR品川駅 港南口から徒歩約7分 / 京急品川駅から徒歩約10分

開館時間:10時~18時(最終入館は17時30分まで) 日:日曜日、祝日、および当館の定める日 館

入 料:無 料

お問い合わせ:TEL:03-6433-3900 FAX:03-6433-3901





e-mail: tuchida@jpca.gr.jp

〒102-0082 東京都千代田区一番町 25JCII ビル 304

TEL&FAX: 03-3221-6655

発行所 (株)博秀工芸 http://www.hakushu-arts.co.jp

表紙の写真 「旅するチョウアサギマダラ」 写真: 海野 和男

コメント:暑いのも寒いのもきらいという贅沢なチョウ、アサギマダラは旅をする 者いのも寒いのもきらいという資派なデョス,アリキャップは派を9 る チョウだ。気温が20度ぐらいの場所を求めて、初夏に南から北へ、秋に北 から南へ移動する。北から移動途中のチョウが上田市の公園に植えられた フジバカマに立ち寄った。ヒヨドリバナやフジバカマが大好きで、こうした 植物のあるところに立ち寄りながら、遙か沖縄より南まで飛んでいくのだ。

